

もり まち  
 森林を活かす都市の木造化推進議員連盟  
 現地視察（千客万来施設）について  
 【視察報告】

1. 視察日：令和6年3月4日（月）
2. 視察先：東京都江東区豊洲  
 千客万来施設 食楽棟



3. 出席議員

視察団団長 (会長代行兼幹事長)	金子 恭之	衆議院議員
顧問	塩谷 立	衆議院議員
	中谷 元	衆議院議員
	櫻田 義孝	衆議院議員
幹事	宮下 一郎	衆議院議員
	八木 哲也	衆議院議員
事務局長	小島 敏文	衆議院議員
事務局次長	滝波 宏文	参議院議員
議連会員	富樫 博之	衆議院議員
	尾崎 正直	衆議院議員
	長谷川 淳二	衆議院議員
	西村 明宏	衆議院議員
	築 和生	衆議院議員
	小森 卓郎	衆議院議員
	朝日 健太郎	参議院議員

4. 概要説明及び質疑応答

【(株)シェルターから概要説明】

- ・ 食楽棟は1階がS造、2、3階が木造であり、江戸時代後期の町並みを再現。木造エリアは約5,300m<sup>2</sup>であり、日本最大級の木造耐火商業施設。
- ・ 防火地域に立地しており、1時間耐火建築物としている。
- ・ 木材使用量は1,085m<sup>3</sup>であり、構造体が992m<sup>3</sup>、造作材（外壁、天井、柱・梁の表面の化粧材）が93m<sup>3</sup>。構造部材は、より高い強度が必要な部分については外材のLVLを使用し、それ以外は国産材で、主にスギ又はヒノキ。外壁、天井、柱、梁に多摩産材（スギ）を使用。炭素貯蔵量は994t-CO<sub>2</sub>。
- ・ 木造耐火には告示仕様と個別認定仕様をそれぞれ部位ごとに採用しており、柱と梁に、多摩産材を表面に使用した木質耐火部材であるクールウッドを採用。
- ・ 屋根に化粧垂木を使用する等の工夫により、外観を江戸の町並みに近づけている。

## 【主な質疑応答】

- ・ 国産材の調達の問題なく行われたのか。多摩産材を選んだ理由は何か。また、加工はどこで行ったのか。

(回答) 計画期間が長かったこともあり、調達は特段の問題なく行えた。加工は、千葉や群馬にある提携工場で行った。今回は江戸の街並みの再現というコンセプトであり、東京都の木である多摩産材を活用している。

- ・ 沿岸部で塩害も心配されるが、耐久性についてどう考えているのか。

(回答) 木材や瓦は、コンクリートに比べて潮風に強いと考えている。

- ・ スギは弱いと言われるが、この建物では梁にもスギを使っているのか。

(回答) 今回は梁や、特に強度が必要な柱にはカラマツ系の外材を使っている。垂木、間柱、壁下地、表面に見える仕上げ材としてスギを使っている。

- ・ 中大規模建築物の木造化はコストアップになると言われるが、この建物では RC 造や S 造と比べてコストに差が出ているのか。また、今回の建設には補助金を活用しているのか。

(回答) 厳密に比較しているわけではないが、おそらく S 造でもあまりコストは変わらないと思われる。また、東京都の多摩産材利用に係る補助金を活用している。

- ・ 今回は比較的軽い淡路瓦が使われているが、山陰地方で使われる重い石州瓦のようなものは使えないのか。

(回答) 他の重い瓦でも使用できるが、屋根が重いと地震の際には揺れやすくなるため、設計は変わってくる。

- ・ これだけ大規模な建物だと、耐震の面でも普通の構造とは違う考え方をしなければならぬと思うが、どのようになっているのか。

(回答) 一般の住宅で使われない壁倍率 30 倍の K 型ブレースを随所に配置し、耐震性能を高めている。

- ・ クールウッドの大臣認定は、他の建物でも汎用的に使えるのか。建物ごとに別途改めて認定を取らないといけないのか。

(回答) クールウッドは、2 時間、3 時間耐火の仕様もあり、認定の仕様どおりにすれば、様々な建物に活用可能。





金子会長代行挨拶



(株) シェルター木村会長挨拶



(株) シェルターからの概要説明



質疑応答



視察中(2階部分の外観)



視察中(3階部分の内観)





木質耐火部材 (梁)



多摩産材利用の標示



食楽棟全景



小島事務局長挨拶